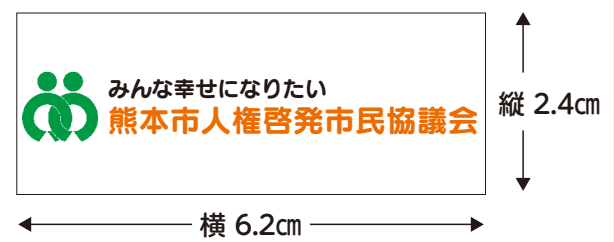




(漫画：圓山道子さん)

ラブミンだより及び 熊本市人権啓発市民協議会 ホームページ広告掲載について

当協議会の自主財源確保のため、ラブミンだより及び人権協ホームページにおける広告掲載を募集します。ラブミンだよりは年4回(3,650部/回)発行し、市の公共施設への配付や民生委員を通じて地域の方々に読まれています。会員の皆様の広報・宣伝にぜひご活用ください。



【ラブミンだより広告面の大きさ】
縦2.4cm×横6.2cm

【掲載期間】

ラブミンだより令和7年夏号から令和8年春号まで熊本市人権啓発市民協議会ホームページは令和7年6月1日から令和8年5月31日まで。

【申し込み案内】

4月初旬にメールでご案内いたします。ぜひお申込みください。
※ラブミンだより及び人権協HP掲載1枠につき10,000円。広告収入は、会員様の自主研修助成金に充てております。

令和6年度人権啓発ブック 「みんな幸せになりたい」

令和6年度人権啓発ブックが出来ました。女性(又は男性)に関する人権問題など熊本市における20の人権問題を取りあげ、人権問題への気づきになるよう作成しました。人権協会員の皆様方には3月に送付いたしました。



医療法人 堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院
平田 好文 理事長
(令和6年度(2024年度)理事)

回復期リハビリテーション病院では、いつもみなさんの尊厳について考えています。

わたしたちは回復期リハビリテーション病院として、全世代型リハビリテーションを進めています。目標は、地域に住む方が、その人らしく生きていくことを一緒に支えていくことです。その人らしく生きていくこと、それは色々な形での社会参加です。リハビリ病院から、就学、就労支援を行います。その為の両立支援コーディネーターの資格も設定されて、企業とのネットワークも段々と出来てきています。障害があっても社会参加をサポートします。人生の最後を見守る人生会議という話し合いが始まっています。介護保険の理念は『尊厳と自立支援』であるということをご存知ですか?そして最も重要なことは『自己決定権』と言われています。どんな認知症の方でも、どんな重症な難病の方でも自分のことは自分で決める権利があるんです。これからの人権とはどうあるべきかをみんなで話し合っていきましょう。これは医療従事者だけの問題ではありません。熊本市からメッセージノートというみんなで人生の最終段階を考える冊子ができています。とてもわかりやすく構成されていて、私たちはいつも利用しています。誰でもが、必ず直面するととてもとても大事なテーマですので、みんなで尊厳について考える風土を作りましょう。

ラブミンだよりについてご意見・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

〒860-8601
熊本市中央区手取本町1-1
熊本市人権啓発市民協議会事務局(熊本市役所人権政策課内)

【電話番号】096-328-2333
【F A X】096-324-2105
【ホームページ】https://lovemin.jp/



Voice

会員の皆様より、社会貢献活動や人権啓発への取り組みについてお話しできます。

熊本市人権啓発市民協議会 令和7年度 総会を開催いたします。

日時：令和7年(2025年)5月23日(金)
15時00分～17時00分
場所：ホテル日航熊本(熊本市中央区上通町2-1)

人権協会員の皆様はぜひご出席ください。なお、ご案内は各企業・団体の代表者様のお名前でご郵送させていただきますので、出欠のご返信にご協力をお願いいたします。総会後にトップセミナー(講演会)を開催いたします。詳細につきましては、後日ご案内状と一緒に送らせていただきますので、ご確認の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員情報内容の確認をお願いします。

熊本市人権啓発市民協議会では、会員の皆様へのご案内などをスムーズに行うため、住所や連絡先、代表者様のお名前、啓発担当者様のお名前等の情報を常に登録・更新しております。異動等により登録情報の変更が発生した場合は、お手数ですが内容変更届のご提出をお願いいたします。(様式は熊本市人権啓発市民協議会事務局のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。提出方法については、メール・郵送・FAX可です。)

※3月末に各会員様の人事異動等を考慮し、登録情報の確認を行います。総会でお配りする会員名簿の資料となりますので、速やかなご返送にご協力いただきますようお願いいたします。

熊本市人権啓発キャラクター「ラブミン」



ラブミン だより



人権協ホームページ
https://lovemin.jp



令和7年2025年

春号



熊本市男女共同参画センターはあもにい 館長

吉田 稀世

プロフィール

- ・1972年熊本市生まれ
- ・熊本県立女子大学(現熊本県立大学)文学部卒業
- ・有限会社ミュージックプランニング 取締役
- ・熊本市男女共同参画センターはあもにい 館長
- ・一般社団法人 シンママ熊本応援団 事務局長
- ・国際ソロプチミストオンライン熊本 理事

次の100年に向けて 共に考え対話し、行動する社会のためにできること

「国道3号沿いにある黒髪の「はあもにい」と言うと、「ああ、女性センター」と言われる方が多くいらっしゃいます。「総合女性センター」から「熊本市男女共同参画センターはあもにい」に名称変更したのが2010年。15年経っても女性(のための)センターという印象が強いのは、まだまだ女性支援や、女性が活躍できる環境基盤を整える必要があり、そのための事業・取り組みが多いからだと思います。そして、このような取り組みに対して「男性だって大変だ」「女性の活躍で男性が生きづらくなっている」という声もよく届きます。

先日、ある講座で「女性特有の課題は何か?」を考えるグループワークがありました。この「女性特有」にひっかかりを感じた受講生は多く、その中で子育て・介護や仕事と家庭の両立などが「女性の問題にさせられていることが課題だと気づいた」という発言がありました。

まさに、社会に課題があるとき「女性」「子ども」「外国人」「性的マイノリティ」「障がい者」や「高齢者」の問題とされる場合がありますが、それを生み出しているのは、当事者ではなく、制度や慣習・しきたり・社会の雰囲気といった社会構造です。

「平和なくして平等なく、平等なくして平和なし」「婦選は鍵なり」と大正から昭和にかけ女性の地位や権利の向上に尽力した市川房枝さんが、婦選獲得同盟を立ち上げて2024年で100年。この1世紀で世の中の意識も変わり女性も権利を得てきました。ですが、まだ不十分だというのは、毎年示されるジェンダーギャップ指数でも明らかです。

ミモザの花が咲くころ、3月8日は女性の権利と地位向上のための記念日「国際女性デー」です。熊本市・県と天草市の男女共同参画センターが共同で3月を「ミモザ月間」と定め、県内の男女共同参画推進部署とも連携しさまざまなイベント・啓発事業を展開します。次の100年、誰もがともに生き生きと個性と能力を発揮できるまち。そんな社会の実現のためにできることを、これからも地道に、共に考え、対話し行動する機会を作っていきたいと思います。

私たちは お客様の
想いと夢をデザインします...
熊本市西區二木3丁目12-37
TEL.096-353-1291 FAX.096-351-4303
Home page https://www.colony-k.com/ E-mail soumu@colony-k.or.jp

～心とからだの健康づくり～
(一財)熊本市文化スポーツ財団
子どもからシニア世代まで参加できる
スポーツ・健康・文化教室開催中!
http://aomai.jp

熊本学園大学
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY
【商学部】 【経済学部】 【外国語学部】 【社会福祉学部(第一部・第二部)】
〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号 TEL.096.364.5161(代表) URL www.kumagaku.ac.jp